



ICTがあまり得意でない松本ですが、最近ようやく学校ホームページの更新の仕方を覚えました。

せっかくなら、学校の様子をいろいろお伝えしたいと思い、その日に印象に残ったことや、今日の給食メニューなどを掲載し始めました。

これから、どんどん更新していきたいと思いますので、お時間があるときに見ていただくと嬉しいです。



～バトンを受け継いだ6年生～

3月の卒業式の時、今の6年生は、卒業生からバトンを受け取りました。そのバトンには、次のように書いてあったと思います。「次は君たちの番だ！東大淀小学校を頼むぞ！」

今の6年生の子たちは、この意味をよく理解して、この1ヶ月半を過ごしてきました。

4月になるとすぐ、春休みにもかかわらず、入学式の準備で学校に来てくれました。みんなよく働き、あっという間に会場が完成しました。

入学式では、1年生と手をつないで入場しました。その凛とした姿が胸に焼き付いています。

式辞の中で、「1年生の皆さん、学校では挨拶が大切です。今から、6年生のお兄さんお姉さんにお手本を見せてもらいますね。」というわたしのお願いにもしっかりと応えてくれました。6年生が、「おはようございます！」と大きな声であいさつをすると、会場から大きな拍手が起こりました。

1年生は入学してから覚えることがたくさんあります。朝の準備の仕方、給食の準備の仕方、掃除の仕方……。6年生の子たちは、登校するとすぐに、自分のことを終え、1年教室に来て、やさしく声をかけてくれます。

1年生がこの2ヶ月間学校で元気に過ごしているのは、6年生の子どもたちの力が大きいと思います。

今度の運動会でも、6年生がリーダーシップを発揮して、楽しい運動会にしてくれると期待しています。



6年生が、1年生をリードして掃除のサポートをしてくれています。

～図書館ボランティア 西村さん、林さんのお話から～

今年度も、図書館の環境整備のボランティアで、西村千奈美さんと、林淳子さんにお世話になっています。西村さんは、書写の授業で、度々子どもたちがお世話になっているので、千奈美先生といった方がわかっていただけるかもしれません。



お二人は、毎週木曜日の午前中に学校に来ていただき、図書館まわりの飾りつけをしていただいています。季節を感じる飾りつけをしていただき、来館した子どもたちのわくわく感をそそります。

お二人にお話を聞くと、このような学校ボランティアの活動を始めてから、すでに20年以上の月日が経ったそうです。もともとは、東大淀小学校の保護者の立場で、学校外の環境ボランティアとして活動をスタートされたと教えていただきました。

図書館の廊下側をきれいに飾りつけしていただいています。気持ちが華やかになります。

20年前といえば、2000年代初め、大阪の池田小学校の事件があり、学校の安全体制整備が全国で叫ばれた頃。「自分たちが、子どもたちにとって、『知っている地域のおばちゃん』になりたいんです。もし学校外で危険なことがあった時、『あっ、あのおばちゃん知っとる。助けてもらおう！』って、そんな関係になればいいと思います。」と笑顔で語っていただきました。

お二人にとっては、子どもたちに顔を知ってもらうためのきっかけが、この図書館の整備であり、書写の授業であったのだと思います。そして、その志をずっと持ち続け、今も活動を続けていただいていることに頭の下がる思いでした。

加えて、「子どもは、助けてもらう存在になるだけではありません。時には、地域の方を助ける存在にもなります。」と教えていただきました。西村さんの経験では、地域のお年寄りの方が怪我をしたとき、近くを通りかかった子どもが気づいて、まわりの大人に助けを求めにいったことがあったそうです。まさに、大人が子どもを助け、子どもが大人を助ける・・・こんな「共助」の気持ちがこの東大淀の地域に根付けばいいなど、お話を聞きながら感じました。

運動会が近づいてきました！



今年の東大淀小学校の運動会は、5月31日(土) 9:00スタートで

す。毎日、子どもたちも練習を頑張り、本番で、お家の方、地域の方に喜んでもらおうと汗を流しています。当日は、ご参加いただきますようお願いいたします。